

令和6年11月6日

沖縄県知事 玉城デニー 殿  
沖縄県教育委員会 教育長 半嶺 満 殿

美咲特別支援学校保護者・卒業生保護者・関係者 有志の会  
代 表： 澤岷 聖司  
副代表： 嘉島 美香代

## 県立特別支援学校を福祉避難所に指定することを求める要望書

近年日本においては毎年のように大きな災害が発生しており、東日本大震災、熊本地震、そして今年1月の能登半島地震でも、要配慮者(高齢者、障がい者など)への対応に関する課題が明らかになっております。

このような状況の中、私たち保護者は、災害時に開設される避難所に発達障害を持つ子どもと共に避難することに対して、多くの懸念と不安を抱えます。

発達障害のある子どもたちは、衝動的な行動やパニックによる奇声、繰り返しの行動など、健常者には理解しづらい行動が多く見られるため、避難生活となると、周りの方々に迷惑をかけることを懸念し、保護者は避難所への避難をためらうことが多くなると予想できます。また、子ども自身も慣れない地域の避難所には、何のために行くのか理解できず避難を拒むことや、多くの人がいる環境が苦手で中に入れないことが予想できます。

このような状況をふまえ、まずは安全を確保し、安定して過ごせる環境が必要と考えています。そのため、慣れ親しんだ場所である特別支援学校を福祉避難所として開設を目指し美咲特別支援学校保護者、関係者有志にて署名活動を実施しました。

本要望に対して、沖縄県民の皆様から多大なる賛同をいただき、沖縄県内全体で4,895人の署名が集まりました。この結果は、沖縄県民が本要望に対して強い関心と支持を持っていることを示しています。ついては、下記事項についてご配慮をお願いいたします。

## 要望事項

1. 美咲特別支援学校を福祉避難所に指定するため、沖縄市との協議と連携を進めていただくことを要望いたします。
2. 指定避難所を経由せず、初めから美咲特別支援学校に直接避難できるようにし、避難したい要望があれば指定避難所開設と同時に美咲特別支援学校も福祉避難所として開設することを要望いたします。
3. 美咲特別支援学校は生徒・卒業生等、発達障害のある人が優先的に避難できるようにすることを要望いたします。
4. 現在うるま市兼箇段に建設が進められている県立中部 A 特別支援学校(仮称)をあらかじめ福祉避難所としての指定するためにうるま市と協議と連携を進めていただくことを要望いたします。
5. 4. 現在うるま市兼箇段に建設が進められている県立中部 A 特別支援学校(仮称)体育館にクーラー設置の計画がなく、福祉避難所指定を前提に設備計画を見直すことを要望いたします。

以上